





国語，数学，理科(化学，生物)問題

はじめに，これを読みなさい。

1. これは，国語，数学，化学，生物の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。食料環境政策学科受験者は「国語」が必須である。
2. 問題は，数学，化学，生物については表面から70ページ，国語については裏面から12ページある。ただし，ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか，受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい，解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい，解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし，「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお，マークしていない場合，または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は，すべて解答用紙の所定欄にマークするか，または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は，必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は，消しゴムできれいに消し，消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は，絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず，必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

| 良い例 | 悪い例 |
|---|---|
|  |    |

国語

(解答は解答用紙に横書きで記入すること。解答番号は1～14、101～106、201～203)

(一) 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

九州の熊本県と福岡県の県境に、かつて三池炭鉱と呼ばれる炭鉱があった。おそらく地元以外では、半世紀前にあつた大規模な労働争議によつてのみ記憶されているであろうこの辺りには、現在でも炭鉱施設の痕跡が数多く残っている。

明治以来、日本の近代化・工業化を支えた三池炭鉱は、石炭から石油へのエネルギー革命が進んだ一九六〇年代頃から衰退しはじめ、一九九七年に完全に閉山した。現在この場所で見ることができるのは、往時の炭鉱を偲しのばせる施設の断片の数々のみである。この場所を訪れる者は、おそらく二度、驚くことになる。最初は、あたかも〈近代〉がすでに廃墟となつていようような光景を目にすることによつて。二度目は、外観からすれば数十年前には終わつていたと思われるこの場所が、ほんの十数年前まで存続していたと知ることによつて。そしてその驚きとともに、〈近代〉が朽ちる速さを実感するのである。

今日、この三池炭鉱や長崎県の端島炭鉱(通称「軍艦島」)、福岡県の旧官営八幡製鉄所の関連施設などを含む九州各地の近代化産業遺産群をまとめて、ユネスコの世界遺産への登録を目指す運動が、地元の地方自治体および専門家を中心に進められている。

それにしてもなぜ、近代の廃墟とも言うべき建築の数々が、世界遺産になると考えられる(最終的になるかどうかは別として)のだろうか。メディアで日々喧伝される世界遺産と言えば、神社仏閣や城郭、大聖堂など、長い歴史のある壮麗な建築物が大半である。それらとこの近代産業の遺構群とは、あまりにイメージが異なっている。いったいどうして近代の廃墟が世界遺産にな

りうるのだろうか。

このことは、ユネスコの変化と関係している。ユネスコが世界遺産を創設したのは、人類の貴重な文化遺産（および自然遺産）を開発や紛争等による消滅・破壊の危険から保護することを目的としたことである。しかし、保存対象の認定基準が、事実上、西洋の歴史的・伝統的建造物に有利なように設定されており、世界遺産の多くが西洋地域から選ばれていた。そのため世界遺産は西洋中心主義的であるとの批判が、しばしば起こるようになった。この批判に応え、多様な文化の尊重という理念をより可視的にすべく、ユネスコは文化遺産の基準を変容・拡張してゆく。

この世界遺産化運動の中で、それまでどちらかと言うと地域の文化遺産として受けとられてきた建築群は、よりグローバルな文脈に沿うべく再構成され、新たに「非西洋世界における近代化の先駆け」という大きな意義を付与されることになった。「九州・山口の近代化産業遺産群」のホームページでは、これらの建築群はアヘン戦争以来の日本の近代史のなかに位置づけられ、西洋によるアジア諸国の植民地化の脅威に直面した日本人が、西洋から近代的技術をセツシュし、やがて自力で工業化を達成してゆく過程を示すものという大きな意味が与えられている。共通の歴史的枠組みの中に含まれることにより、¹これらは同じ一つの文化遺産の構成要素として捉えられるようになったのである。

近代産業の遺構を世界遺産化しようとする運動はこれ以外にもあるし、国あるいは地域のレベルでは、すでに文化遺産化されているものも多い。このように、今日では

I

「遺産のまなざし」という言葉は、イギリスの社会学者J・アーリの「観光のまなざし」を転用したものだ¹が、近代の廃墟は、遺産のまなざしのみならず、観光のまなざしによっても眺められるようになっていく。世界遺産が観光と不可分であることは言うまでもないので、ここで別の例を挙げるとすれば、工場の観光化がある。福岡県北九州市や神奈川県川崎市、三重県四日市市など重工業の盛んな都市では、ライトアップされた工場群——これらは三池炭鉱や軍艦島と違い、古びてはいるが基本的に現在でも稼動している——を新たな観光資源として活用することが自治体によって検討されており、一部では夜景観賞ツアーまで行われている。また、工場の外観を写した写真集やDVD、絵葉書などの商品も少なからず売られている。近代産業の建築群

は、今や貴重な観光資源となつてゐるのである。

これらの新たなまなざしの形成と連動して、新たな感性も生じつつある。この感性は、たとえば「廃墟マニア」や「工場萌え」といった言葉が示すように、従来の一般的感性から言えばとうてい美しいとは見なされない廃墟や古びた工場に感応する。写真集やDVDなどを見て触発された人々は、カメラ片手に現地を訪れ、日常の中であまり目にする事のない、近代の廃墟が放つ一種独特の美を堪能するのである。

もちろん、「廃墟マニア」の感性と「工場萌え」のそれとは完全には重ならない。廃墟は、しばしば朽ち果てた建造物のまわりに草木が繁茂しており、その建造物じたいが半ば X 化している。たいてい「萌え」の対象となる工場は、古びているとはいへ現在でも稼動中であり、まったくと言ってよいほど緑のない、徹底して Y 的な世界である。それゆえ両者が与える印

象に、少なからぬ違いがあるのは当然である。けれども、とりあえずそのような違いを脇に置いて見れば、どちらも近代産業を担う施設としてつくられ、美とは無縁の存在であつたが、その盛時が過ぎ去つた後、新たに美的対象として審美化されるようになった点では似ている。くすんだレンガや赤錆あかさびの目立つ鉄の建造物が草木や青空、日の光と一体となつた光景を、あるいは幾多の部品が精巧な幾何学的外観をなす鈍色こびいろの工場が暗闇の中で輝く光景を目にするとき、近代2という時代が、ただそれだけが持ちえたであろう強度が想起される。閉山した炭鉱や古びた工場を新たな遺産、新たな資源、新たな商品に変える新たなまなざしと新たな感性。³もはやその使命を終え、前時代的にも見える無骨な建築物の数々が、新たな価値を与えられて再生の時を迎えつつある。こうして『マクベス』の魔女の言葉のように、「きたないはきれい」となる。

それにしても、炭鉱や工場と言えば、過酷な労働があり、幾多の争いがあり、水や空気の汚染があり、死に至る事故がある場所だつたはずである。たとえば三池炭鉱のある街では、かつての労働者やその家族、事故の被害者やその遺族が今でも多く住んでいる。その人々にとって、遺産化や審美化は複雑な思いを抱かせるものである。地元の人々がしばしば口にする言葉で言えば、それらは「負の遺産」を抱える場所であり、遺産化や審美化は、まるでその代償であるかのように、それらの負の遺産を洗い流そうとする。

事実、自治体が遺産化や審美化に取り組むのは、観光振興によつて地域を活性化するのみならず、負の遺産に覆われた街という従来のイメージを変えるためでもある。それゆえ場所の生々しい記憶をもつ地元の人々が、この価値転換の試みにならずしも積極的でないとしても、不思議ではない。世界遺産化の運動が、肝心の地元で十分な盛り上がりを見せるまでになつていないのも、それが行政主導で進められ、住民への説明や関心のカンキが足りないからだけではない。負の遺産に光を当てられないその運動への違和感があるのである。

かつてペンヤミンは、文化財は文化の記録であると同時に野蛮の記録でもあると述べた。つまりところ文化財とは、勝者や支配者がみずからの栄光を誇示すべく、偉大な天才による傑作として飾るものであるが、そこには同時代の名もなき人々の苦役もまた、含まれているからである。炭鉱や工場が、そこで働き、生きた人々の存在を消し去つたまま遺産化／審美化されるときには、このペンヤミンの警句を思い起こしてみることが必要だろう。さもなければ、「きれい」になつたそれらの建造物は、再び、しかし当初とは別の意味で、「きたない」ものとなりかねない。文化と野蛮、遺産と負の遺産、きれいときたない。そのどちらをも見据え、感じ取り、語るための、真に新たなまなざし、新たな感性、新たな言葉とは、どのようなものなのだろうか。(近代)は、すでに遠い過去になつていると同時に生々しい現在であり続けている。⁴そこに、近代の廃墟の遺産化／審美化が可能であると同時に不可能である理由がある。

(註)

○『マクベス』——シェイクスピアの四大悲劇の一つ。

○ペンヤミン——(一八九二—一九四〇)ドイツの思想家、批評家。

○萌え——本来の日本語では、草木の芽が出る様を言うが、俗語としては物や人などに対する強い好意の感情を表す。

(松浦雄介「きたないはきれい」による)

問一 二重傍線部 a・c のカタカナを漢字に直して書きなさい。解答番号は a が 、c が

問二 二重傍線部 b・d の漢字部分の読み方を平仮名で書きなさい。解答番号は b が 、d が

問三 傍線部 1「これらは同じ一つの文化遺産の構成要素として捉えられるようになった」とあるが、今までそのように捉えられなかったのはどうしてか。その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

- A 従来の文化遺産とは、あまりにも規模が違い過ぎるから。
- B 地元の人々の世界遺産化に対する反対が強かったから。
- C 保護や保存の対象にするには、歴史がまだ浅いから。
- D 世界遺産の選定基準が、西洋的な見方に偏っていたから。
- E ユネスコの基準が一定せず、選定が難しかったから。

問四 空欄 には「遺産のまなざし」について説明する文が入る。最も適切なものを

- A 近代の廃墟を文化遺産として見る
- B 近代の廃墟を観光資源として見る
- C 近代の廃墟を負の歴史遺産として見る
- D 近代の廃墟を経済の基準によって見る
- E 近代の廃墟をユネスコの基準によって見る

問五 空欄 X と Y には、反対の意味の言葉が入る。最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマーク

しなさい。解答番号は X が 3、Y が 4

A 普遍 B 人工 C 特殊 D 自然

E 日常 F 抽象 G 非日常 H 具体

問六 傍線部 2「近代という時代が、ただそれだけが持ちえたであろう強度が想起される」とあるが、それはどういうことか。そ

の説明として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 5

A 廃墟や工場に、近代という時代だけが体験した奇妙な歴史を思い起こすこと。

B 廃墟や工場に、近代という時代だけが持ちえた旺盛な活力を思い起こすこと。

C 廃墟や工場に、近代という時代だけが可能にした不思議な雰囲気を感じることに。

D 廃墟や工場に、近代という時代だけが持ちえた特別な地域性を感じることに。

E 廃墟や工場に、近代という時代だけが持ちえた特殊な美意識を感じることに。

問七 傍線部 3「もはやその使命を終え、前時代的とも見える無骨な建築物の数々が、新たな価値を与えられて再生の時を迎え

つつある」とあるが、それはどのようなことを言い表しているのか。傍線部 3を含む段落の言葉を用いて、三十五字以内で

答えなさい(なお、句読点がある場合は、それも一字とする)。解答番号は 201

問八 傍線部4「そこに、近代の廃墟の遺産化／審美化が可能であると同時に不可能である理由がある」とあるが、それはどうし

てか。その理由として最も適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

6

A 「遺産のまなざし」と「観光のまなざし」は必ずしも一致せず、ときとして相反する場合があるから。

B 文化遺産の記録は栄光の記録であると同時に、野蛮の歴史でもあり、その記憶によって過去を恥じる人々がまだいるから。

C 近代の遺産は廃墟としての価値を持つが、一方でその遺産にまつわる人々の歴史や思いがまだ消えずに残っているから。

D 遺産化は観光資源として有益であるが、一方で住民の利益がないがしろにされるといいう面があるから。

E 文化遺産を保護して残すことは重要だが、一方で負の遺産として意味づけることは不可能であるから。

問九 本文中から次の文が欠落している。もとの箇所に戻すにはどこが最も適切か。次の文が入る直前の七文字を抜き出して

答えなさい(なお、句読点がある場合は、それも一字とする)。解答番号は

105

【挿入文】 ある社会学者は、遺産化には一種の「消毒作用」があると述べているが、それは審美化についても当てはまる。

問十 次のA～Eのうち、本文の内容と合致するものを一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

7

A 近代産業の遺構群を見ると、そこで人々は近代という時代の繁栄と過ぎゆく時間の速さという、二つの驚きを感じることになる。

B 地域の文化遺産として保存するだけでは観光資源として不十分なので、官民一体となって世界遺産に認定してもらおうことも必要である。

C 廃墟や工場に美を見出すという、一見奇妙に思える感性は、これからの新しい時代を生きるために必要不可欠なものでもある。

D 行政が遺産化を押し進める背景には、地域の活性化と同時に廃墟にまつわる負のイメージを払拭したいというねらいもある。

E 文化財を遺産化する場合は、そこに刻まれている地元の人々の目立たない歴史も、しっかりと記録・保存することが大切である。

(二) 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

信濃の国に更級といふ所に、男すみけり。若き時に、親は死にければ、をばなむ親のごとくに、若くよりそひてあるに、この妻の心憂きことおほくて、この姑の、老いかがりまりてゐたるを、つねに憎みつつ、男にもこのをばの御心のさがなくあしきことをいひ聞かせければ、むかしのごとくにもあらず、おろかなることおほく、このをばのためになりゆきけり。このをば、いといたう老いて、ふたへにてゐたり。これをなほ、この嫁、ところせがりて、今まで死なぬことと思ひて、よからぬことをいひつつ、「もていまして、深き山に捨てたうびてよとのみ責めければ、責められわびて、さしてむと思ひなりぬ。月のいとあかき夜、「おぼども、いぎたまへ。寺にたうときわざすなる、見せたてまつらむ」といひければ、かぎりなくよろこびて負はれにけり。高き山のふもとにすみければ、その山にはるばると入りて、高き山の峰の、おり来べくもあらぬに、置きて逃げて来ぬ。「やや」といへど、いらへもせて、逃げて家に来て思ひをるに、いひ腹立てけるをりは、腹立ちてかくしつれど、年ごろ親のごと養ひつつあひ添ひにければ、いと悲しくおほえけり。この山の上より、月もいとかぎりなくあかくいでたるをながめて、夜いと夜、も寝られず、悲しうおほえければ、かくよみたりける。わが心なくさめかねつさらしなやをばすて山に照る月を見てとよみてなむ、またいきて迎へもてきにける。それよりのちなむ、をばすて山といひける。

(「大和物語」より)

- 問一 本話の登場人物は何人か。次の中から正しいものを一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 8
- A 一人 B 二人 C 三人 D 四人 E 五人

問二 空欄 に、適切なひらがな一字を補いなさい。解答番号は

106

問三 傍線部1「おろかなることおほく、このをばのためになりゆきけり」の意味として適切なものを次の中から一つ選び、その

記号をマークしなさい。解答番号は

9

A 「をば」が愚かな行為をすることが増えた

B 「をば」が粗略に扱われることが多くなった

C 「をば」にとって今まで考えもしないことが増えた

D 「をば」にとってバカバカしい事態が多くなった

問四 傍線部2「ふたへにてゐたり」と同じ意味となる部分を本文中から十字以内で抜き出して示しなさい。解答番号は

202

問五 傍線部3「ところせがりて」の意味として適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は

10

A うつとうしく思つて

B かわいそうに思つて

C 大切なことと思つて

D 大変だろうと思つて

問六 傍線部4「今まで死なぬこと」にはどのような気持ちが込められているか。次の中から適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 11

- A いつまでも生きているのを憎く思う気持ち
- B 死の訪れをあきらめをもって受け入れる気持ち
- C 長生きをしたことへの感謝の気持ち
- D 長生きしたことを祝い喜ぶ気持ち

問七 傍線部5「捨てたうびてよ」と同じ意味になる表現を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。解答番号は 12

- A 捨てたてまつりてよ
- B 捨てたまひてよ
- C 捨てたまへてよ
- D 捨てはべりてよ

問八 傍線部6「さしてむ」を、具体的な内容が分かるように言葉を補って、現代語に直しなさい。解答番号は 203

問九 傍線部7「たうときわざすなる」の現代語訳として適切なものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。 解答番

号は 13

- A 尊い法会が開かれる予定だから
- B 尊い法会が開かれるだろうから
- C 尊い法会が開催されるそうだから
- D 尊い法会が開催されるのだから

問十 傍線部8「いひ腹立てける」の内容を具体的に表しているものを、本文中の破線部①～④から一つ選び、その記号をマーク

しなさい。 解答番号は 14

- A ①
- B ②
- C ③
- D ④